

まち想い！

シブすぎ オープンデータ & どすごい シビックテック

実録！ Code for MIKAWA の活動軌跡を記した
世界初のオープンデータ漫画！

「すごい！すごい！どすごい！
コイツらやバイ程シビックテッカーだ（笑）
豊橋市民の「まち想い」が詰まった1冊が
マンガで分かるなんて贅沢で羨ましい。」

CODE for GIFU 代表 シビックテッカー 石井哲治

原作・絵
見ル野栄司

監修・発行

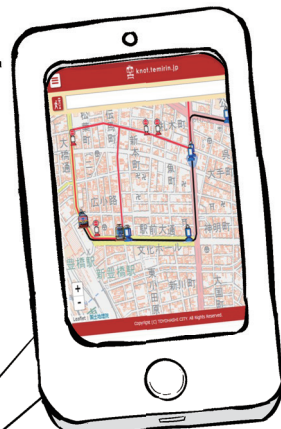
Code for MIKAWA
(うずらインキュベータ)



まさ想像! シブすぎオープンデータ&
どすごいシビックテック

原作・絵
見ル野栄司

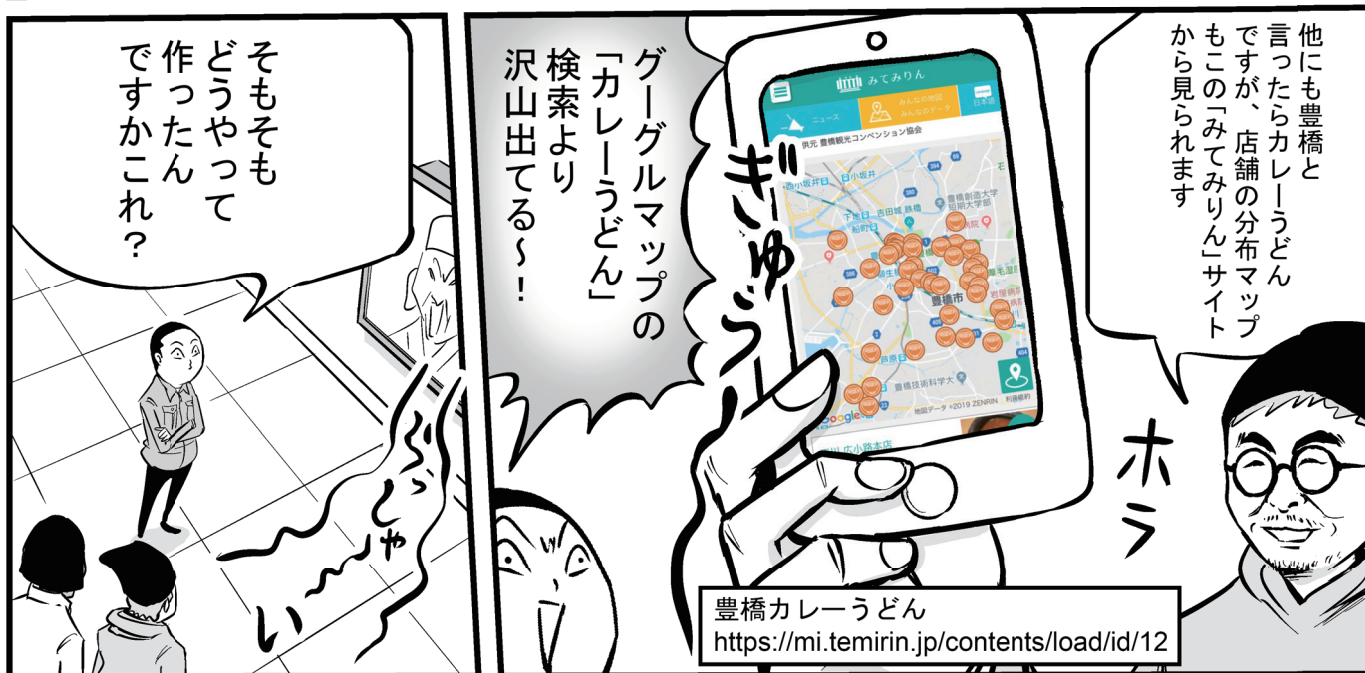
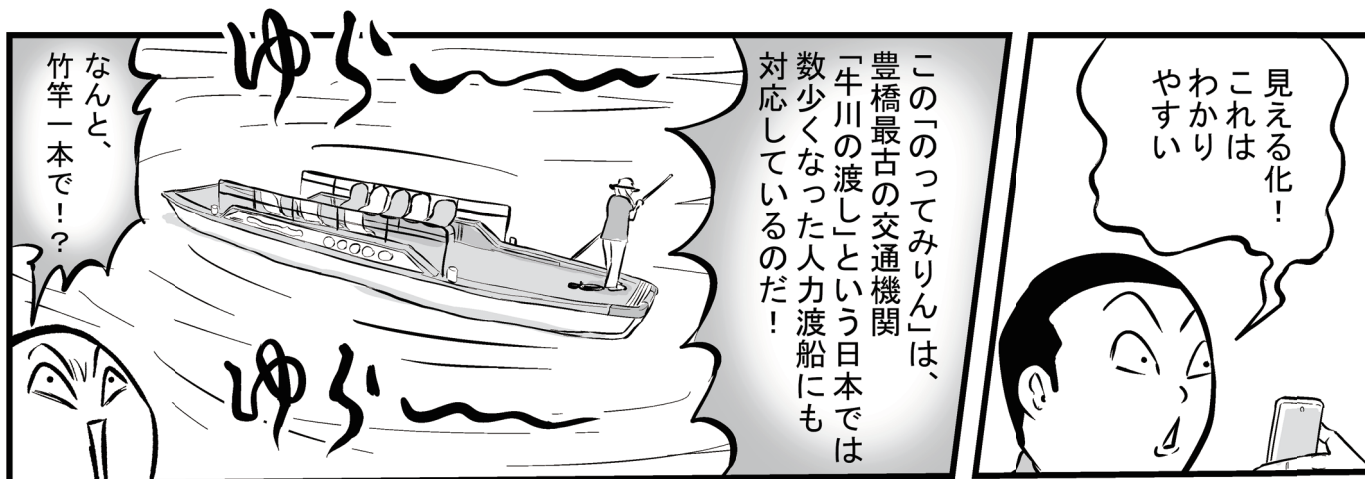
監修・発行
Code for MIKAWA
(うずらインキュベータ)

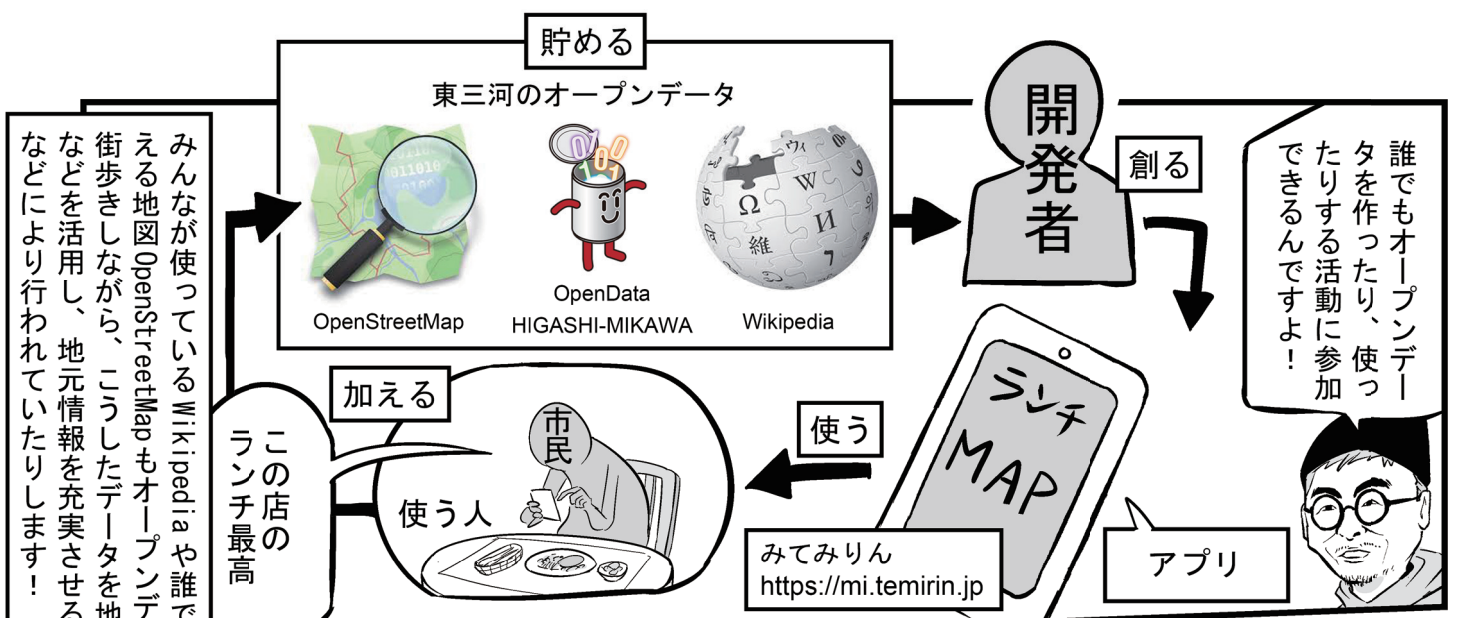


世界初! 名物店主の声のオープンデータ化に成功
「挨拶の流儀」豊橋一番の「いらっやい」をあなたに
<https://opendatatoyohashi.jp/node/906>



※「牛川の渡し」・・・牛川町から大村町へ号線の一部区間（約70m）を渡す市道。
通勤や通学など市民の足として親しまれている。





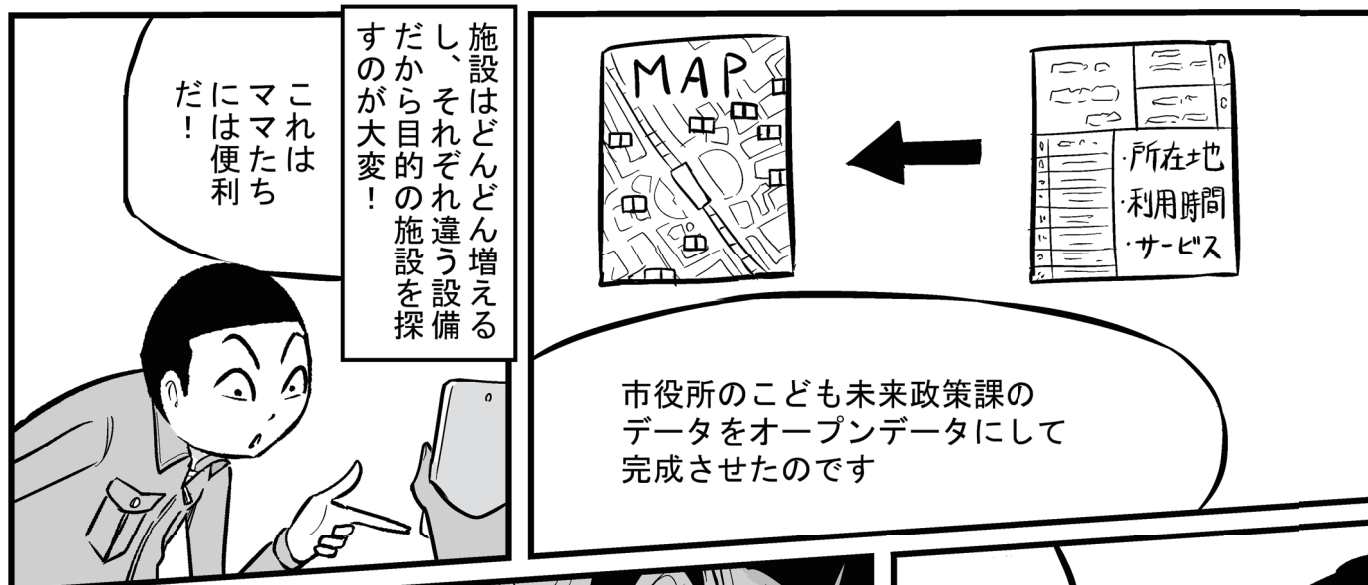
俺たちの街の資産である
データは俺たちが
どんな使い方をしても
自由ってことか！

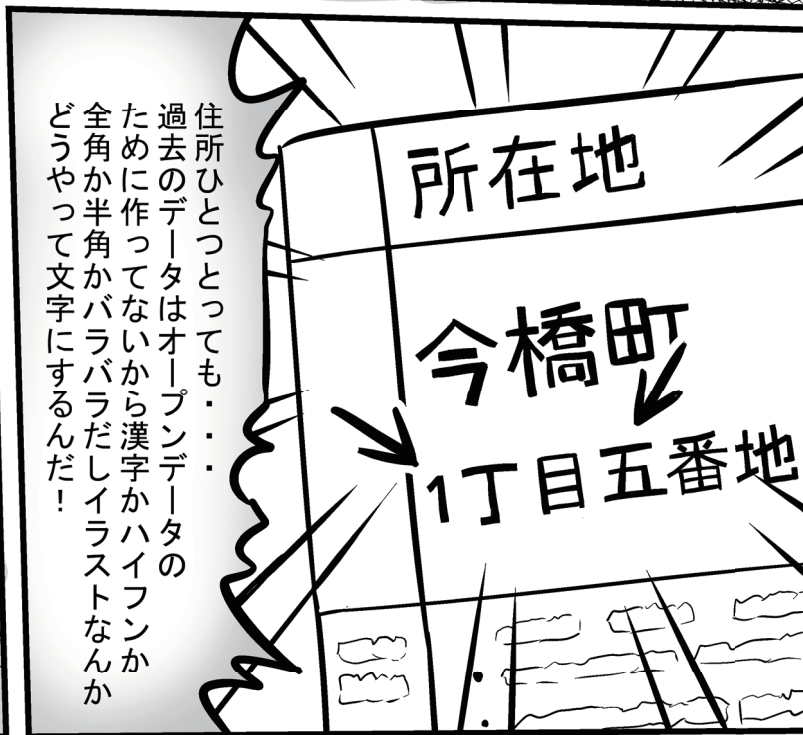
役所などにも
たくさん眠っている
データがあるので
どんどん公開して
使ってもらえ
ようにしたいんです

という
ことは

公共施設の
場所や地域の
納税額や
人口変動や
街灯の位置や
消火栓の数や
マンホールの
位置までも！

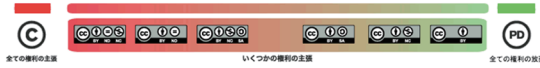
そこで！役所の
人間でもある私が自ら
オープンデータで
便利マップを作ったのが





オープンデータを作ったら、次に、みんなに使ってもらえるようにすることが大切です！
作ったデータを流通させるには・・・

1. データの利用に関するルールを決める
よく使われているものとしては、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス（CCライセンス）というものがあります。これはインターネット時代のための世界共通の新しい著作権ルールで、作品を公開する作者が上記のマークを添えることにより「この条件を守れば私の作品を自由に使って構いません。」という意思表示が可能です。

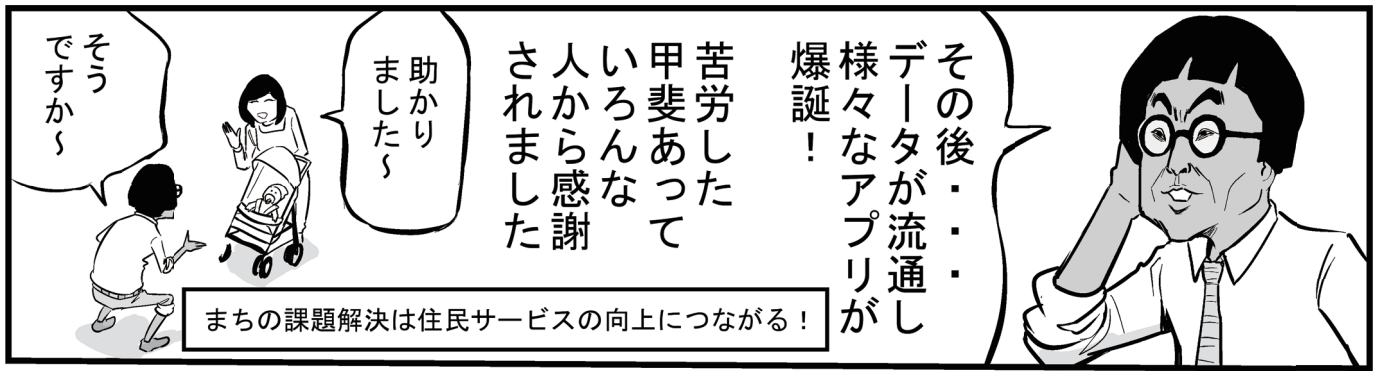


2. オープンデータカタログサイトなどに掲載
カタログサイトとは、インターネット上にオープンデータを集積しているサイトで※OpenData HIGASHI-MIKAWAの様なサイトのことです。利用者が必要なオープンデータを探しやすいように、どのようなデータであるかを示す、以下のようなメタデータを定義する必要があります。

例えば以下のようなデータがメタデータとして使用されています。
データの名称（タイトル）
データの説明、データ形式（ファイル形式）、データが属するカテゴリ（子育てなど）
データに付与するタグ（統計、健康、レジャーなど）、データを作成した組織、データ作成者
データ作成者の連絡先、データ作成日、データに付与されているライセンス
メタデータを付けることによって、利用者はオープンデータを探しやすくなります。







主催
豊橋技術科学大学
ユビキタスシステム研究室（大村研究室）

豊橋技術科学大学
建築設計情報学研究室（水谷研究室）

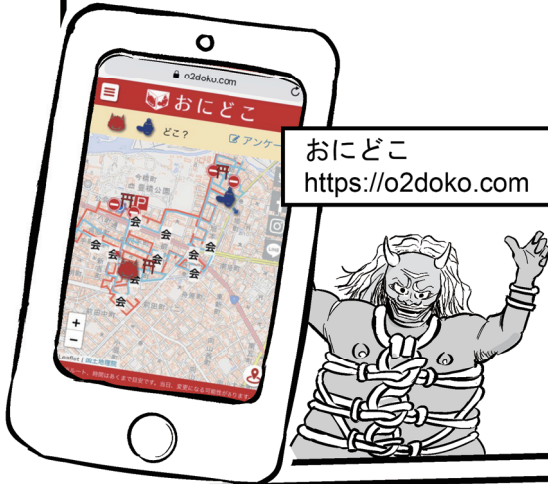
株式会社ウェブインパクト

協力
安久美神戸神社

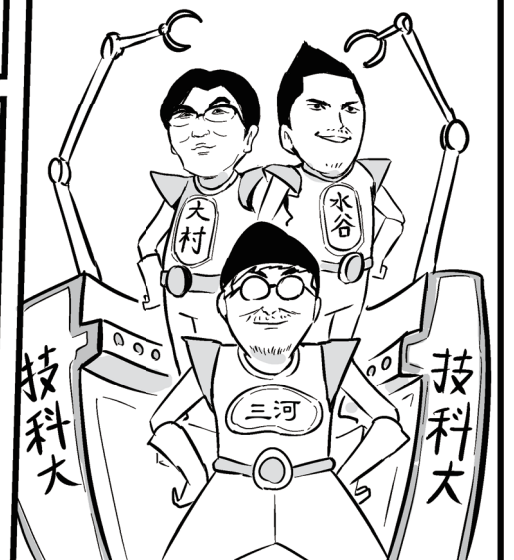
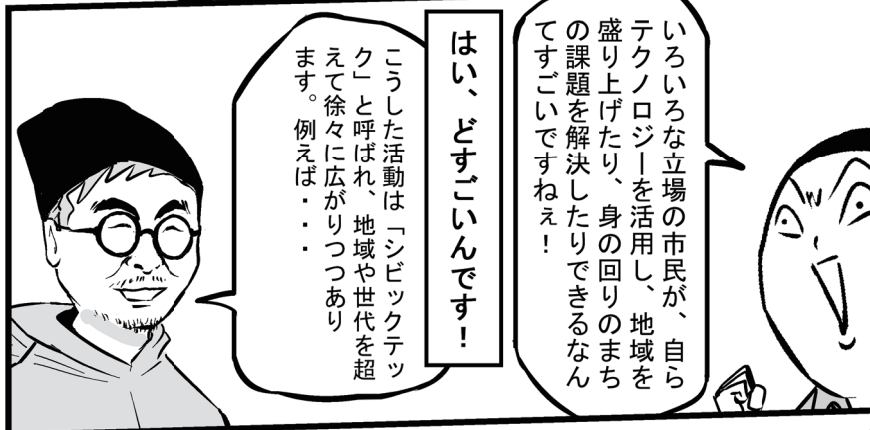
はい、その通りです。
例えば豊橋には古くから受け継がれてきた「鬼祭り」という祭事があり、毎年赤鬼と天狗がまちを練り歩きます。
このお祭りの様子を市内外の方々に広く楽しんでもらえるよう産学が連携し、鬼がいまどこににいるのかわかる「おにどこ」というアプリを開発しました。

「おにどこ」実証実験について
<https://uzura.org/archives/2040>

まさに！
オープンデータは
オープンイノベー
ションにつながっ
ているんですね！



こうした取り
組みこそ、産と学の
組織の垣根を越え、
テクノロジーにより
伝統文化を革新する
オープンイノベー
ションそのもので
す。



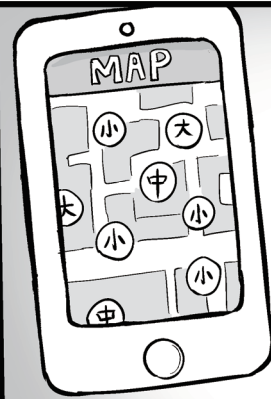
豊橋では学生が主体となつて、オープンデータを活用したハッカソンを開催したりしています。

※オープンイノベーション：自社だけでなく他社や大学、地方自治体など異業種、異分野が持つ技術やアイデアを組み合わせ、製品開発、サービス開発、行政改革、地域活性化等につなげるイノベーションの方法論。

※ハッカソン：ひとつの会場に開発チームが集まりテーマにそつた開発を短時間に行い、プレゼンまでして競い合うイベント

賞は逃がしましたが
ヤンキーと遭遇したくない
人が、出沒ポイントを
みんなで知らせ合う
「ヤンキー出沒マップ」という
愉快的なものでもしました

小ヤンキー
発見



オモシロ
そ〜

シビックテックは、行政だけでなく市民自らも
テクノロジーを活用し、まちの課題に挑戦する
活動なのか！
こうした官民の垣根を越えた連携を実現するには
お互いが同じ情報を得られること、つまり
オープンデータが必要なんだ！
これはもうオイラも作るしかない・・・例えば

犬のうんちマップ

発見！

今どきみんな
処理します！

豊橋
なめるな！！



三河の
雄姿たちに
オープン
男泣き！

便利な
街に
なりそう

なんとか収まって
くれてよかった・・・

END

※シビックテック：シビック（Civic：市民）とテック（Tech：テク
ノロジー）をかけあわせた造語。市民自身が、テクノロジーを活用して、
行政サービスの問題や社会課題を解決する取り組みをいう。

豊橋市がもっと楽しく！もっと便利に！

てみりん
temirin.jp



この冊子で紹介した主なサービスはこちらで使用できます



<https://temirin.jp>

原作・絵 見ル野栄司

監修・発行 **Code for MIKAWA**
(うずらインキュベータ)

2019年3月発行



最新の Code for MIKAWA の活動の様子はこちら



<https://uzura.org>